

闘春

24国民春闘に向け 龍の如く 天に駆け上ろう



国 労 大 阪

国労大阪地区本部
発行・辻 将城
編集・安宮政雄
2024年 1月 1日
NO. 321

働組合



団結を固め 闘いで情勢を 切り開く年に

【辻執行委員長挨拶】

組合員・家族のみならず、新年明けましておめでとございます。

JR各社はコロナ感染以降、賃金削減、人減らし「合理化」、列車本数の削減などを強行してきました。コロナ5類以降、利用者が増大する中、儲かる線区においては、列車本数は元に戻りましたが、要員は増やさないため、長時間労働、年休抑制など労働者犠牲が強まっています。

JR西日本の職場では、過労死ラインを超える月100時間以上の時間外労働や勤務開始後の勤務変更、賃金未払いなどが発覚するなど、労働基準法すら守られていません。同時に関連会社では、低賃金・劣悪な労働条件の中で、感電事故・触車事故など死亡事故が後を絶たないなど、労働者のいのちと健康より利益を優先する経営が強められています。

岸田政権は、労働法制の改悪、増税、社会保障削減、大軍拡、辺野古新基地建設強行、原発再稼働・放射能汚染水海洋放出、高速道路や新幹線建設をはじめとした大型開発、公共交通切り捨てを強行する中、大企業と富裕層に富が集中する一方、

労働者・国民の暮らしは深刻な事態となっており、

欧米では、生活と権利を守るために、コロナ禍でも大規模・長期にわたるストライキで闘っています。日本でも全労連、全労協をはじめ、連合加盟のそごう・西部労組もストライキに立ち上がりました。

国労弁護団で長年におたつてご活躍され、昨年2月ご逝去された宮里邦雄弁護士が、

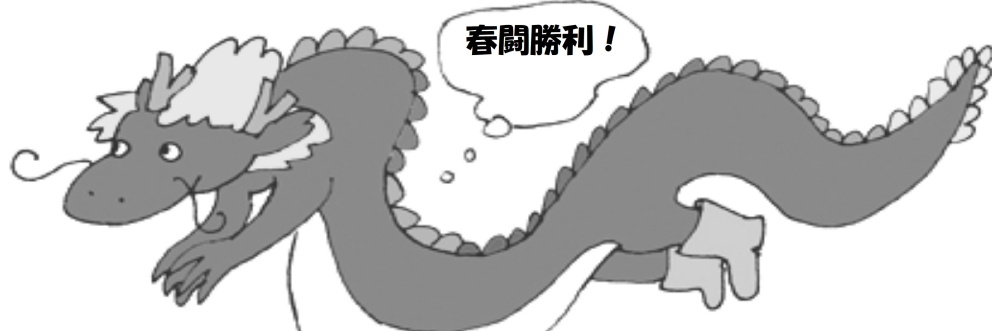
「争議権なくして団結権・団交権もない」と言葉を残しています。

この言葉を胸に刻みながら、2024春闘は、JRと関連の労働者だけでなく、多くの労働組合・民主団体と共同を強め、国民春闘の再構築をめざし、政府・財界を社会的に包囲すること、要求実現に必要な

不可欠なストライキを配置する中で、組合員一人ひとりが闘いに参加することが重要となっています。

困難な時ほど労働組合の原則を守り、国労綱領に基づいた闘いを進める中で展望を切り開いていかなければなりません。

地区本部は、組織拡大をはじめ、多くの課題はありますが、全力で奮闘していく決意を申し上げます。



2024年 力を合わせ頑張っていきましょう!
地区本部 執行部より

希望する契約社員 全員を正社員

岸田政権 「新しい資本主義」は 生活破壊と分断

23年6月21日に閉会した通常国会で岸田政権は、内閣が提出した60本の法案のうち、防衛費増額の財源を確保するための特別措置法や、原発の60年超の運転を可能にするGX脱炭素電源法など、国民生活に重大な影響をもたらす58本の法案を成立させました。

6月16日には、経済財政運営の指針「骨太方針」と成長戦略「新しい資本主義実行計画」を閣議決定しました。少子化対策と称し、財源は社会保障の歳出削減で確保する方針で、防衛費増額の財源に振り向けようとしています。また、保険証の撤廃によるマイナンバーカードの強制、個人事業主など小規模事業者が増税を課すインボイス制度の導入など多くの労働者・国民の反対の声に耳を傾けない政治が続けられています。

大阪では維新政治によるカジノ誘致や大阪・関西万博の増額と強行など、全国各地で住民の声を無視する大企業優先の政治によって公共破壊が進められています。

さらに、「三位一体の労働市場改革」を掲げ、①リ・リスニング（学び直し）、②職務給（ジョブ型人事）、③労働移動の円滑化を進めようとしています。成果主義賃金の促進とリストラ誘導、不当・無効な解雇を金銭解決にする制度や、裁量労働制の拡大、雇用によらない働き方への誘導など、労働者に自己責任を押し付ける労働政策を進めています。いずれも、労働者を保護する労働法制を解体して経営者の雇用責任をなくす方向に推し進められています。成果主義の拡大や自己責任の押し付けは、労働組合つぶし、労働組合の骨抜きにする施策に繋がり、その

点からも放置することはできません。

一律規制によって労働者間の競争を排除し、長時間労働などに歯止めをかけてきた労働者保護法制としての労働基準法の概念そのものを改悪する方向性に向かっています。労働組合間垣根を超えて総力を結集し、労働法制改悪の闘いを構築していかねばなりません。

人事評価とモチベーション

人事評価によるモチベーションについて

モチベーションが下がった経験	ある 78.7%	とてもある	28.5%
		ある	27.3%
		どちらかと言えばある	22.9%
	ない 21.3%	全くない	4.9%
		どちらかと言えばない	8.2%
		ない	8.2%

モチベーションが下がった理由

成果と報酬が見合っていないから	51.3%
評価の基準が不透明だったから	45.6%
上司が自分を見てくれないと思ったから	38.5%

新入社員の会社生活調査 (2023年)

雇用制度として望むもの

雇用制度	2023年度	2022年度
ジョブ型	27.8%	23.4%
メンバーシップ型	22.5%	26.2%
どちらでもよい	31.3%	26.6%
わからない	18.4%	23.8%

人事制度として望むもの

人事制度	2023年度	2022年度
年功序列型	40.9%	38.9%
成果主義型	59.2%	61.1%

終身雇用制度について

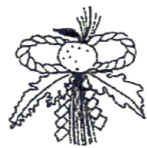
終身雇用	2023年度	2022年度
望む	64.9%	62.7%
望まない	35.1%	37.3%

資料：産業能率大学「2023年度新入社員の会社生活調査」

新年号クイズ

1月8日（月：11：00～）国労南近畿会館にて旗びらきが行われます。学習会も予定しています。旗びらき開催前に、地区本部受付へ、所属分会名・氏名を記入し提出をお願いします。

クロスワードパズル



1		2		3	4
		5	6		
7	8		9		
	10	11		12	13
14			15		
16			17		

カギを解き二重枠の文字を並べてできる言葉を答えましょう<ヒント：大黒天など>

【タテのカギ】 ①第一の地位。――打者 ②口頭。――約束 ③新聞の定期―― ④エコロジーの略 ⑥――ダルマ、――合戦 ⑧敗北の対 ⑪いざという時のための――管理 ⑬生家。――に帰る ⑭――蛇に注意 ⑮改良の――あり

【ヨコのカギ】 ①自分の財産。――を肥やす ③鶴のひと―― ⑤使い古したがまだ使えるもの ⑦他山の―― ⑨――哀楽 ⑩――せぬ出来事 ⑫――運が強い。宝―― ⑭別居の対 ⑯桃――三年 ⑰地下水利用などによる地盤――

答え

所属分会

氏名